

### 第3回安曇野市地域公共交通会議兼公共交通協議会幹事会 会議概要

1	委員会名	安曇野市地域公共交通協議会兼公共交通会議幹事会
2	日 時	平成 20 年 1 月 8 日(木) 午後 1 時 30 分～2 時 40 分
3	会 場	安曇野市堀金総合支所 301 会議室
4	出席者	<p>奥山委員、三村委員（代）岡沢委員、清澤委員（代）竹村委員、鈴木委員、小岩井委員、耳塚委員、樋口委員、甕委員、尾台委員、二木茂光委員、小平委員、小林忠孝委員、会田委員、田中委員、山本委員、槇石委員、斉藤委員、勝家委員（代）丸山里多委員、宮崎委員、曲渕委員、土肥委員、丸山好夫委員、二木一雄委員、大内委員、土井委員（代）皆川委員</p> <p>委員以外出席者 生坂村藤原総務課長</p> <p>市出席者（委員以外）小倉企画政策課長、猿田課長補佐、白澤係長、中山主任 観光協会浅輪事務局長</p> <p style="text-align: center;">他 NTT 4 名</p>
6	公開・非公開の別	公開
7	記者	4 人
8	傍聴	0 人
9	会議概要作成年月日	平成 21 年 1 月 23 日
<b>協 議 事 項 等</b>		
1	会議の概要	<p>(1) 開会 （小倉企画政策課長）</p> <p>(2) 挨拶 （奥山幹事長）</p> <p>(3) 交代委員の紹介（奥山幹事長） 松本電気鉄道(株) 小林忠由委員から鈴木委員（乗合営業部長）</p> <p>(4) 議題 （事務局）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「あづみん」実証運行状況について</li> <li>2. 利用実態調査結果について</li> <li>3. 中房線の料金及び時刻表（案）について</li> <li>4. 本年度の事業評価と来年度の取り組みについて</li> <li>5. 生坂村地域公共交通総合連携計画（案）について</li> <li>6. 平成 21 年度の穂高観光周遊バス（案）について</li> <li>7. その他</li> </ol> <p>(5) 閉会 （小倉企画政策課長）</p>
2	協議概要	<p>1. 「あづみん」試行運行状況について（事務局より説明） ……資料 1          &lt;資料 1 『あづみん』実証運行状況&gt; ※資料内容は下記概要にて説明のため詳細は割愛</p> <p>a) 資料 1 に基づき、平成 20 年度の状況が報告される。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 20 年度については、12 月 31 日までの間に延べ 50,171 人の女性の利用があった。男性は述べ 13,775 人であった。当初の段階で分からなかったのは 394 人で、合計利用者は 64,340 人であった。</li> <li>・運行日数は 184 日で、1 日平均利用者数は 379.8 人であった。</li> <li>・定時定路線の利用者数合計は 4,273 人で、1 日平均利用者数は 23.2 人であった。</li> <li>・12 月の「あづみん」1 日平均利用者数は 379.8 人で、順調に伸びてきている。</li> <li>・運行開始以来の利用者延べ人数は 102,816 人で、12 月に 10 万人目となった三澤様御夫婦には記念品を贈呈した。</li> <li>・「あづみん」利用料金割合は、100 円利用者が 31.2%、300 円利用者が 68.1%であった。</li> <li>・年代別利用者数は、70 代から 90 代までの合計が 67.8%となり、約 7 割が高齢者の方であった。</li> <li>・12 月 25 日の利用者数が 454 人となり、運行開始以来最多の人数であった。</li> </ul>

- ・1月6日現在の区域別登録者数は合計 24,071 人で、人口の 24.2%である。登録者数は増加している。
- ・乗降場所ランキングでは、日赤病院や大型スーパーマーケットが 1 位、2 位を独占し、通院や買物に多く利用されていることが分かる。他には福祉施設の利用が伸びてきている。
- ・利用者ランキング 1 位の方は 20 年度に 355 回の利用があった。運行日数は 184 日だったので、ほぼ毎日往復での利用をされていることが分かる。
- ・回数券使用状況については、300 円券と現金支払の方の割合はほぼ半々であるが、100 円券は導入が 9 月からだったこともあり、それほど利用は伸びていないといったところである。

幹事長 : 「あづみん」実証運行状況について事務局から報告をいただきました。何かご意見などありましたらお出しいただきたいと思えます。  
よろしいでしょうか。また後で一括して質疑の時間を取りたいと思えます。

## 2. 利用実態調査結果について（事務局より説明）・・・資料 2

<資料 2 「利用実態調査結果」>

- a) 資料 2 に基づき、平成 20 年度第 2 回利用者アンケートの結果について報告される。
- ・前は 9 月下旬に 3 日間に渡って調査を行った。今回はその 2 回目の調査である。
  - ・平成 20 年 12 月 19 日から 25 日までの平日 4 日間に調査を行い、208 人の方に協力をいただいた。
  - ・総じて前回と大きく変わった結果は出ていない。
  - ・性別割合は男性が 22.6%、女性が 76.4%であり、年代は 70 代、80 代がそれぞれ 34.6%と多数を占めていた。
  - ・利用時間帯は午前中が 69.2%と多数であったが、午前午後に渡ってという方も 8.2%いた。
  - ・居住地区は豊科、穂高が多かったが、実際に利用実数が多い地区であった。
  - ・利用頻度は週 2～3 回程度という方が 25%と最も多かった。
  - ・利用目的は約半数の方が通院であり、次が買物であった。知人宅訪問や金融機関、福祉施設といった回答もあり、多岐に渡って利用されていることが分かる。
  - ・「あづみん」を往復で利用するという方は 75.5%と大多数であった。往路又は復路のみの利用という方の片道の交通手段は、タクシーや家族の送迎がそれぞれ 4 割近くを占めており、前回調査時よりも若干増えていた。
  - ・乗り継ぎをしない利用者が全体の 73.1%と大多数を占めていた。
  - ・予約が必要な点については、気にならない方が 66.8%と過半数を占め、ほとんど気にならないを合わせると 75.5%と大多数であった。
  - ・これまでに予約が取れなかったことがある方は 21.6%であった。理由としては、既に一杯だったというのが 57.5%と最も多く、電話が繋がらず諦めた方も 25.0%存在した。
  - ・電話が繋がらず諦めた方は利用回数が少ない人ほど割合が高い傾向にあった。また、利用回数が多くても、一杯だった回数が比例して増えているわけではない。その他の原因としては、時間的な都合というものがあつた。
  - ・予約が取れないときの対応は、タクシーを利用した方が 46.3%と最も多かった。
  - ・予約を取り消したことがある方は 21.2%存在した。回数は 1 回という方が最も多く、59.5%であった。また、取り消した理由は、別の用事ができたというのが 26.7%と最多で、以下待てなくなった、用事がなくなったと続く。
  - ・オペレーターの対応については良い、概ね良いを合わせると 87.0%と好評を博したが、やや悪いとの回答も 3.4%存在したため、改善に努める必要がある。
  - ・運転手の対応については、良い、概ね良いを合わせると 92.3%となり、オペレーター以上に好感を持たれている。
  - ・乗合利用については気にならない、ほとんど気にならないとの回答が合わせて 89.0%であった。
  - ・料金については安い、概ね安いとの回答が 82.2%と評価が定着したようだが、高い、やや高いとの回答も一定程度存在する。
  - ・「あづみん」が運行されて本当に良かった、概ね良かったとの評価を合わせると 89.4%で、圧倒的多数に好評を博した。以前のほうが良いという否定的評価も 1 件あつたが、理由はおそら

く全市に広げる前の堀金地域では昼休みの時間帯にも運行があったからだと思います。  
・また、利用者が多い安曇野赤十字病院関係者に「あづみん」利用者の意見や苦情などヒアリングをさせていただいた。電話が1回でつながらないという苦情が一番多いとのことであるが、運行ルールは利用者の皆さんに浸透してきたようだという感想を持たれている。

- b) 定時定路線利用者を対象に行ったアンケート結果について報告される。
- ・車内に用紙を置く方法で「あづみん」利用者アンケートと同時期に行なったもので、18人の方から御協力をいただいた。
  - ・66.7%が女性であり、年代は10代が44.4%と最も多かったが、それ以外の年代にも幅広く分布していた。
  - ・利用時間帯は午前中が多く66.7%であった。
  - ・居住地区は明科、堀金、豊科の順で利用者が多かったが、路線のない三郷、堀金地区の利用者はいなかった。
  - ・乗車場所までの移動手段は自家用車という方が22.2%で最も多く、利用頻度は週2～3回程度が27.8%と最多であった。
  - ・利用目的は通学、通勤が大多数を占めた。
  - ・停留所の追加希望に「日赤前」「柏矢町」が具体的に挙げられた。運行時間の追加希望では、お昼や19時頃といった意見や、具体的な電車の到着時間に間に合わせてほしいといった希望があった。
  - ・「定時定路線」が運行されて本当に良かったとの意見が77.8%、不満もあるが概ね良かったが16.7%であり、否定的な意見は全く見られなかった。「あづみん」同様非常に高い評価をいただいている。

幹事長 : 「あづみん」並びに「定時定路線」の運行につきまして、利用実態調査の結果が報告されました。何かご意見などありましたらお出しいただきたいと思っております。

養委員 : 調査が12月19日から25日の4日間ということですが、時間帯は何時頃だったのでしょうか。また、路線は全地域満遍なく行われたのでしょうか。

事務局 : 主に利用されている時間帯に合わせていますので、午前中が多いのですが、特別意識することなく平等に聞き取りをするように考えておりました。

NTT東 : 時間は8時から16時30分までということでした。

幹事長 : その他よろしいでしょうか。もしございましたら、また後からお願いしたいと思います。

### 3. 中房線の料金及び時刻表（案）について（事務局より説明）

・・・資料3

<資料3 『中房線の料金及び時刻表（案）』>

※資料内容は下記概要にて説明のため詳細は割愛

- a) 中房線の料金及び時刻表の案について、事務局より説明がある。
- ・11月に開催した公共交通会議の中で、来年度から路線の延長をするにあたり、詳細については作業部会で議論させていただき、進めていくという了解をいただいたところである。
  - ・運賃については、今年度までは穂高駅から中房温泉まで1,610円であったが、始発のスイス村から中房温泉まで1,700円となる。
  - ・全ての便がスイス村を発着するわけではなく、高速バスの接続と合わせてある。スイス村から出るのは1便、スイス村に着くのは4便ある。

小岩井委員 : 新しい運賃体系では、平地間のバス停ではどこで乗っても500円となります。中房温泉まではスイス村からでも穂高駅からでも1,700円となります。このように設定した目的は、運賃を分かりやすくすることと、乗務員の運賃収受の煩雑さを軽減することです。運行は毎日バス2台で行います。

時刻表は、松電株と京王バスが運行している新宿～白馬間の高速バスのダイヤに合わせ、当初の目的である交通基地化への第一歩ということで作成しました。  
既存運行では穂高駅発着ですが、スイス村まで路線を延長することにより、高速バスへの乗換えが可能になります。

幹事長 : スイス村まで運行を延ばすということで、料金、時刻表等の提案をしたものです。この提案につきまして、皆さんからご意見をいただきたいと思います。

宮崎委員 : 一点確認ですが、高速バスの乗り継ぎに関してです。8時、9時新宿発の高速バスがあり、9時発の方に接続するというダイヤだと思うのですが、中房温泉に到着するのは14時近くになり、そこからその日に燕山荘まで上がるのは登山者にとっては非常に厳しいということになります。登山客を対象とするなら、寧ろ新宿8時発のバスに合わせた方が良いのではないかと思います。

小岩井委員 : 運行台数には限りがありますし、運行時間が長時間になります。松本電鉄さんも京王バスさんとの関係でスイス村の時間を決められたと思うのですが、中房線とリンクするからということで時刻等変えるという考えはとりあえずないので、今現在の状態で最大限に効果が期待できる時刻表ということで考えさせていただいたものです。登山者にとって利用しやすいか、利用するかどうかということは、実際運行してみて皆さんの声を聞かなければ判断のつかない部分もありますが、関係者の話を聞く中では、当面これは有効であろうという話をいただいています。実験段階ということで今年運行してみて、松電さんとも相談させていただき、より良いものにしていきたいと思っています。

幹事長 : その他よろしいでしょうか。それではこの提案についてご承認いただけますでしょうか。

委員 : 異議なし。

幹事長 : それではご承認いただけたということで、これから申請を進めて参りたいと思います。

#### 4. 本年度の事業評価と来年度の取り組みについて（事務局より説明） … 資料4

##### <資料4「本年度の事業評価（案）」>

※資料内容は下記概要にて説明のため詳細は割愛

- a) 資料4に基づき本年度の事業評価と来年度の取り組みについて事務局より説明がある。
- ・この実証運行は、今年度から国土交通省の地域公共交通活性化・再生総合事業の補助金をいただきながら行っている。
  - ・この1月26日までに、今年度の事業の評価を行い、来年度に向けて備えることになっている。基本的な書式なども指示されているので、それに基づいて概要などを記載させていただいたものである。
  - ・今日この場で内容についてご議論いただき、意見等あれば、今月の半ばくらいまでに事務局までご連絡いただきたい。
  - ・国土交通省に提出したものは、安曇野市公式ホームページにも掲載する予定である。
  - ・この連携計画は、平成20年3月26日にできたものである。
  - ・基本的な方針は、生活交通の確保や充実を行うということであり、地域間の一体感を造成し、地域の活性化等に寄与するというものである。
  - ・計画の目標は「あづみん」を地域住民の生活を支える交通手段として定着・確立し、年間利用者数を102,900人とすることである。
  - ・乗合タクシー「あづみん」の運行主体は社会福祉協議会及び市内タクシー事業者4社とする。
  - ・市外移動や観光客対応等の検討については、安曇野市地域公共交通協議会を主体とする。
  - ・20年度に実施した事業は、市内での定時定路線を含む乗合タクシーの実証運行と、観光客対応や市外移動の方法についての検討である。
  - ・20年度の具体的な成果としては、12月までの1日平均利用人数が、乗合タクシーについては349.7人、定時定路線は23.2人であった。観光客対応や市外移動の方法については、中房線の

延長やパークアンドライド整備などの具体的な検討を進めてきた。

- ・事業の評価としては、利用の実績数値や利用実態調査の結果を見ても、大多数から運行されて良かったという評価を得ていると思われる。
- ・総合事業計画については、利用者の代表が参加する地域公共交通会議や幹事会、作業部会などを開催し協議を行い、また利用者実態調査などを通じて地域住民の意見が反映されたものとなっている。
- ・翌年度事業実施に向けては、更に予約しやすい環境の整備や、市外移動、観光客対応の連携が必要である。

幹事長 : 事務局より、事後評価と来年度に向けた取組に関して説明がありました。何かご意見、ご質問等あればお出しいただきたいと思います。

先程事務局からありましたように、今月 20 日までに皆さんからの意見を取りまとめて、その後国に提出するという運びになります。もし後でお気づきの点などありましたら、事務局の方にお出しいただきたいと思います。提出にあたりましては、事務局一任ということでご承認をいただき、進めさせていただければと思いますがよろしいでしょうか。承認をいただきましてありがとうございます。

#### 5. 生坂村地域公共交通総合連携系計画（案）について（事務局より説明）… 資料 5

<資料 5 「生坂村地域公共交通総合連携計画（案）」

※資料内容は下記概要にて説明のため詳細は割愛

a) 資料 5 に基づき生坂村地域公共交通総合連携計画（案）について説明がある。

- ・今、生坂村が地域公共交通総合連携計画を作成しているところであるが、安曇野市内の明科駅までバスを乗り入れている。連携計画提出の手続で、路線が通過する自治体も連名で提出する必要があることから、安曇野市地域公共交通協議会の承認をいただきたいとのことであるので、この場でお諮りするものである。
- ・新体系においては、犀川線のダイヤの変更、周回バスからデマンドバスへの変更、運賃の改定、車両の変更が主なポイントとなる。

幹事長 : 法律の改正に伴い、地域の公共交通は地域が考えて運行していくということになっています。今回のケースは、生坂村の地域公共交通について、安曇野市に運行エリアが及ぶ部分があるため、こちらの承認を得たいということで、この会議に提案をされているということです。生坂村の総務課長にご出席いただいておりますので、補足がございましたらお願いしたいと思います。

生坂村 : 最初は予定にありませんでした本件を急遽加えていただけましたことに感謝いたします。若干の補足をさせていただきますが、路線バスの明科駅前までの乗り入れについては、平成 9 年 4 月から 79 条許可をいただき、平成 23 年 9 月 30 日までの認可をいただいているものです。この中で、旧明科町に係る部分については今までと大きく変更するものではありませんが、1 日につき往復 1 便の減便があります。その他に料金の関係が変更になりまして、今まで初乗り料金が 190 円だったものが 300 円になっております。若干の値上げ等がありますが、全体的に大きな変更はありません。この計画の提出については、先程幹事長からもお話がありましたように、安曇野市に係る部分がございますので、生坂村長と安曇野市長の連名で出す必要があるということで、本日お願いに上がったわけです。

幹事長 : ありがとうございます。ただ今のご説明につきまして、ご質問、ご意見等ございましたらお出しいただきたいと思います。

よろしいでしょうか。それでは皆さんのご承認をいただけたということで、進めさせていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

#### 5. 平成 21 年度の穂高観光周遊バス運行（案）について（事務局より説明）… 資料 6

<資料 5 「平成 21 年度穂高観光周遊バス（案）」

※資料内容は下記概要にて説明のため詳細は割愛

- ・現在の安曇野市の連携計画の中では、観光周遊バスを安曇野市観光協会と松本電気鉄道(株)が運行するという事になっている。今年度はその計画に基づいて行っていたが、来年度は観光協会と市のタクシー事業者の協議会で運行を行いたいという話をいただいた。
- ・現在の案では、運行日も年間 150 日などとなっているが、実際には来年度の運行に向けて更に関係者で議論し、大勢の方に乗っていただけるよう内容を精査していく必要がある。

幹事長 : この周遊バスにつきまして関係各位にご出席いただいておりますので、まずは観光協会の浅輪事務局長様より補足説明をいただければと思います。

浅輪事務局長 : 今事務局より説明がありましたが、観光周遊バスについては、平成 10 年頃から松電(株)のご協力を得ながら運行して参りました。平成 18 年頃から利用者も減少し大変厳しい状況になったわけですが、20 年度になりまして、松電(株)から運賃の見直しをしてもらえないかという話がありました。19 年度までは 1 日につき費用 11,000 円ということでやらせていただいていたのですが、20 年度は 40,000 円という提示がありました。これは非常に厳しい数字だったので、一応 34,650 円ということにさせていただき、運賃を 150 円にさせていただきました。今までは最高でも 300 人程度の減少でしたが、20 年度は 1000 人近い減少になってしまいました。21 年度については、1 日の費用は 30,000 円、運行日数を 150 日くらいということでご検討いただいたのですが、どうしても採算に合わないというお返事をいただき、地元の業者さんとも相談しても良いという話でしたので、地元のタクシー業者さんと話し合いをさせていただきました。その結果、30,000 円でやっていけるのではないかという回答をいただきました。ただし運賃は 150 円というわけにはいかず、大人 300 円という話になっております。運行日数につきましても、150 日は厳しいということで、見直しをしていくことになっております。本日は運賃が急激に上がっていることにつきまして主にご議論いただければと思っております。

鈴木委員 : 松本電鉄です。観光周遊バスは当社が長らく運行させていただいてきたのですが、最初から採算に合わない話を承ることはできないということで、昨年単価を上げさせていただきました。先程お話がありましたが、運賃や日数の問題について改善をお願いしたいという話をいただいたのですが、当社の乗合事業の場合一番短い区間が 150 円の運賃でございまして、300 円や 500 円という運賃を設定することができない制度となっております。また運行日数に関しても、これ以上増やしますと、利用の薄い日にちが出てきますので、昨年より少ない単価でというのは難しいと思われ、より効率的な運行ができるタクシー会社さんの方で運行していただければ一番良いのではないかという判断を当社としてさせていただきました。

小岩井委員 : ただ今鈴木部長さんから話がありましてとおり、関係者の話し合いの中でご納得いただき、地元のタクシー事業者が運行をさせていただくということになりました。21 年度の運行案としては、路線は大糸線の東西で分かれます。東の路線は、穂高駅を出発して等々力家を真直ぐ東に向かいわさび園に行きます。その車は高橋節郎美術館に行って同じ道を帰ってきます。西側の路線は、安曇野の里経由でわさび園から高橋節郎美術館へという周回コースです。運行に関するアイディアにつきましては、作業部会の方で詰めさせていただければと思っております。停留所は全部で 26 箇所あります。この運行につきましては、安曇野市のタクシー運営協議会ということで、南安タクシー、安曇観光タクシー、明科第一交通の 3 社でやらせていただこうと考えております。運賃は大人 300 円、小人 150 円、1 日乗車券が 600 円で、身障者割引が 5 割引と想定しております。運行日につきましては、希望としては年間 150 日程度ということですが、予算等の都合や乗車人数の予想を立てる中で、作業部会で詰めていただければと思っております。

幹事長 : ありがとうございます。21 年度の観光周遊バスの案について、関係各位の方から説明をいただきました。このことにつきまして、皆様方からのご意見ご要望、並びに質問などいただきましたと思います。よろしいでしょうか。これにつきましては先程事務局からもありましたように、この案をたたき台にして作業部会の方で更に突っ込んだ議論をさせていただき、最後の詰めをさせていただきますと思っております。詳細につきましては事務局一任ということでご了承いただけますでし

ようか。

ご了承いただきありがとうございます。それでは本日の議題全てに関しまして、再度確認や要望等がございましたらお出しいただきたいと思ひます。

ないようですので、その他について事務局の方からお願いいたします。

#### 7. その他について（事務局より説明）

事務局 : いくつかご報告やお願いがございます。まず次回の会議日程ですが、本年度最後の地域公共交通会議兼協議会を3月25日水曜日に午後1時半から、この会場で予定しております。お忙しいところ恐縮ですがご予約をお願いしたいと思います。2点目ですが、現在運行しております車両14台のうち何台かを長野県の合併特例交付金で買い換えておるところですが、4台が昨年末に納車になりまして、事業者の方にお貸ししております。この1月から運行を開始しておりますが、LPGを併用して走る車両であり、非常に経済性に優れており環境にも優しいものです。またこれとは別に、市の方から補助をさせていただき、運行しているタクシー事業者の車両のうちの1台は既に9月に同様の改良を済ませておりますし、更に2月に1台同様の改良を予定しております。

また、恐らく3月にJRの時刻表の改正があるかと思ひます。それに基づき、定時定路線の時刻表を変更させていただくことをご承知いただきたいと思ひますし、また今年には御遷宮がある関係で、特急しなのの明科駅への臨時停車が何本か出るかと思ひます。それに合わせて観光協会の方で臨時便を運行するということがありますので、ご承知おきいただきたいと思ひます。

幹事長 : ありがとうございます。次回の開催日程が3月25日であることと、LPG併用の車両への買い替えを進めているということ、また3月のJRダイヤ改正に伴い、定時定路線等々の時刻の変更をしたいという提案でございました。以上の事項につきまして、何かあるでしょうか。よろしいでしょうか。今日は非常に多くの議題を無事終えることができました。ご協力に感謝し、事務局にお返ししたいと思います。

事務局 : 本日はお忙しい中お集まりいただき、慎重にご審議いただきましてありがとうございます。以上をもちまして本日の会議を閉会と致します。

以上